

事務事業名	採石場土砂流失災害補償事業	事務事業No.	40203000546	所属課	商工観光課
<p>(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？</p> <p>昭和50年に旧真壁町で開始された。桜川市真壁町の指定河川地域において、土石等採取事業活動により発生した災害防止・救済を行なうため実施する事業である。昭和61年から流域農家への休耕補償を行っていたが平成18年度で廃止し、当時基金に余裕があったため積立ても停止した。平成25年度の委員会で県へ浚渫を要望することとなったが、砂防ダムだったことが判明し県で浚渫できないこととなった。平成26年度の委員会では、今後県へ区と市とで源十郎川上流の河川改修を要望することで決定した。</p>					
<p>(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？</p> <p>浚渫を繰り返すだけではいつまでも砂が流出し続けるだけで解決しないので、県へ河川改修を要望していくべきという委員からの意見がある。</p>					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	<p>① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 結びついている</p> <p>地場産業である石材業者の事業に起因し、河川流域の住民の生活に係ることから、石材業者及び市民の保護に結びついている。</p>
	<p>② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</p> <p>岩瀬地区の採石業者に関する場所では当事業のような基金は存在せず、行政としての関わり方には見直しの余地はあるが、現状として明確な代替案は見つかっていない。</p>
	<p>③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)</p> <p><input type="checkbox"/> 向上余地がない</p> <p>浚渫を行うことで現状を維持している状況であり、向上の余地はない。</p>
有効性	<p>④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 影響有</p> <p>浚渫の廃止について協議したが、委員から災害が起こる可能性が指摘されているため、影響がある。</p>
	<p>⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 県・市単独事業</p> <p><input type="checkbox"/> 余地がない</p> <p>浚渫は引き続き行いが、大規模な災害が発生した場合は市が対応することになる。</p>
効率性	<p>⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)</p> <p><input type="checkbox"/> 削減余地がない</p> <p>浚渫を行いつつ、現状維持している状況であり、事業費の削減の余地はない。</p>
公平性	<p>⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である</p> <p>地域住民の生活を補償する必要があることから、公平・公正である。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>		<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>指定河川の堰堤における災害防止措置として年1回の土砂の浚渫を行っている。</p>																						
<p>(3) 今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>		<p>(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
<p>(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>		<p>(6) 事務事業優先度評価結果</p> <p>成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③</p>																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

<p>(1) 課長評価</p> <p>課長確認後の評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出</p>		<p>(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)</p> <p>確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認</p>	
--	--	---	--